

令和元年度「新美祢市病院改革プラン」点検・評価報告書

1 令和元年度美祢市病院事業報告

(1) 患者数

ア 市立2病院全体

市立2病院全体の延入院患者数は6万8,932人で、前年度に比し1,642人の増、外来患者数は6万7,236人で、前年度に比し177人の減となりました。

イ 美祢市立病院

美祢市立病院においては、延入院患者数は3万9,064人で前年度に比し414人の増、1日平均入院患者数は106.7人で前年度に比し0.8人の増となりました。延外来患者数は、3万8,814人で前年度に比し451人の増、1日平均外来患者数は155.8人で前年度に比し3.2人の増となりました。

なお、病床利用率は、77.3%となり、患者1人当たりの収益は、入院2万6,847円、外来1万931円となっております。

ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院においては、延入院患者数は2万9,868人で前年度に比し1,228人の増、1日平均入院患者数は81.6人で前年度に比し3.1人の増となりました。延外来患者数は、2万8,422人で前年度に比し628人の減、1日平均外来患者数は118.4人で前年度に比し0.7人の減となりました。

なお、病床利用率は81.6%となり、患者1人当たりの収益は、入院2万4,942円、外来6,766円となっております。

(2) 収益的収支

ア 市立2病院全体

令和元年度の市立2病院事業の収益的収支は、総収入33億2,609万7,194円、総支出33億8,962万9,427円を計上し、差し引き6,353万2,233円の純損失となりました。

その結果、この純損失に前年度未処理欠損金の7億3,065万7,435円を加え、7億9,418万9,668円の未処理欠損金となりました。

イ 美祢市立病院

美祢市立病院は、総収入19億4,146万6,715円、総支出20億3,457万4,470円で、差し引き9,310万7,755円の純損失となりました。

ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院は、総収入13億9,913万3,289円、総支出13億6,955万7,767円で、差し引き2,957万5,522円の純利益となりました。

2 令和元年度における各種経営指標の数値目標と達成度

○美祢市立病院

	経営指標の数値目標と達成度				
	単位	R元 目標	R元 実績	達成 状況	特記事項
1 病院機能・収益向上に関する指標					
① 入院患者数（1日当たり）					
一般	人	64.9	63.9	△	患者数の減少による
療養	人	43.6	42.8	△	患者数の減少による
② 外来患者数（1日当たり）	人	157.0	155.8	△	患者数の減少による
③ 救急受入件数（年間）	件	700	707	○	
④ 紹介率	%	31.1	26.7	×	
⑤ 逆紹介率	%	14.8	13.1	×	
⑥ リハビリ件数（年間）	件	21,124	21,805	○	
2 経費削減に関する指標					
① 職員給与対医業収益比率	%	70.4	71.8	△	医業収益の目標未達による
② 材料費対医業収益比率	%	16.4	15.6	○	
③ 委託料対医業収益比率	%	16.4	14.6	○	
3 収支状況に関する指標					
① 経常収支比率	%	94.9	95.4	○	
② 医業収支比率	%	86.5	86.4	△	医業収益の目標未達による
③ 資金収支（単年度）	百万円	△ 59	△ 104	×	医業収益の目標未達による

○美祢市立美東病院

	経営指標の数値目標と達成度				
	単位	R元 目標	R元 実績	達成 状況	特記事項
1 病院機能・収益向上に関する指標					
① 入院患者数（1日当たり）					
一般	人	49.4	48.5	△	患者数の減少による
療養	人	35.1	33.1	△	患者数の減少による
② 外来患者数（1日当たり）	人	116.1	118.4	○	
③ 救急受入件数（年間）	件	835	890	○	
④ 紹介率	%	63.9	66.8	○	
⑤ 逆紹介率	%	44.2	38.1	×	
⑥ リハビリ件数（年間）	件	16,270	20,671	○	
2 経費削減に関する指標					
① 職員給与対医業収益比率	%	78.2	76.7	○	
② 材料費対医業収益比率	%	10.2	10.2	○	
③ 委託料対医業収益比率	%	16.6	15.4	○	
3 収支状況に関する指標					
① 経常収支比率	%	100.0	102.2	○	医業費用の減による
② 医業収支比率	%	81.6	82.9	×	医業収益の減による
③ 資金収支（単年度）	百万円	35	102	○	

3 評価と経営改善に向けた取組み

(1) 評価

- 延入院患者数は、市立病院では微増、美東病院では大きく増加した。
延外来患者数は、市立病院では微増となったが、美東病院では減少した。
- 市立病院においては、拡充した地域包括ケア病床の効率的な運用が進み、収益の増加が図られてきている。
このことにより、美祢市立病院においては、収益的収支の赤字が大幅に縮小した。引き続き収益的収支の赤字を縮小させる取組みを実施する必要がある。
- 美東病院においては、収益的収支が黒字となった。ただし、資本的収支における差引が当分の間、△6,000万円程度になることから、今後も3,000万円以上の純利益をあげる必要がある。

(2) 経営改善に向けた取組み

- 令和2年3月に策定した「新美祢市病院改革プラン（全面改定版）」に基づき、取組を進めていく必要がある。
- 具体的には、周辺医療機関との紹介、逆紹介といった地域連携機能の強化や、平均在院日数短縮圧力の影響が少なく、かつ入院単価増となる地域包括ケア病床への機能転換などで収益性を高め、持続的で安定した経営に取り組んでいく。